

株式会社伸和光機

エコアクション21

環境活動レポート

対象期間：2021年8月～2022年7月

発行：2022年10月28日

《環境方針》

《基本理念》

私たちは、地域環境の保護と事業活動の両立を基本理念として、地域社会への貢献に努めます。

《基本方針》

私たちは「花巻の自然を守ります」をスローガンに、従業員一人一人が環境への配慮を心掛け、自然への思いやりにあふれた空間づくりを目指します。

1. 事業活動によって生じる環境負荷の低減、及び資源の有効活用を環境目標に定め、定期的に見直し、継続的な改善を行います。

特に次の事項を重点的に取り組みます。

- ①電気使用量、燃料使用量の削減
- ②紙類使用量の削減
- ③不良品発生量の削減
- ④産業廃棄物の分別、リサイクルの推進
- ⑤水資源の現状維持
- ⑥グリーン購入の推進
- ⑦化学物資の適正使用と管理

2. 環境関連法を遵守し、環境汚染の防止や環境保全の継続的改善を図ります。
3. 「地球にやさしい」、「環境保全につながる」活動には積極的に参加します。
4. 本方針は全従業員に周知するとともに、社会環境教育などを行い実施します。
5. 本方針は社外からの要求や、その他必要に応じて開示致します。

株式会社伸和光機

代表取締役 豊川 正仁

事業概要

1. 事業者名及び代表者

株式会社伸和光機 代表取締役 豊川 正仁

2. 所在地

本社 〒025-0084 岩手県花巻市桜町四丁目 259 番地 1
TEL 0198-22-2131 FAX 0198-23-5101
第二工場 〒025-0015 岩手県花巻市東十二丁目 19-105
TEL 0198-21-3340 FAX 0198-21-3341
名取工場 〒981-1221 宮城県名取市田高字原 345
TEL 022-393-8182 FAX 022-393-8183

3. 環境管理責任者及び EA21 事務局

役職：管理部次長 氏名：菅野 篤史 e-mail：a-kanno@s-kouki.co.jp

4. 事業活動の内容

- ・ 部品加工、部品購買
- ・ 各種製造、組立（光学機器・精密機器・医療機器・電気機器・業務用機器等）
- ・ 3D CADによる部品治工具の設計、試作
- ・ 組込システム設計、試作
- ・ 基盤回路設計、試作

5. 事業規模（第 45 期 2021. 8. 1～2022. 7. 31 実績）

- ・ 資本金 3,000 万円
- ・ 工場床面積 本社 1,924.98 m² 第二工場 531.40 m² 名取工場 758.60 m²
- ・ 従業員 82 名（2021. 7 末 内パート 12 名）

6. 適用事業範囲

- ・ 全社を認証範囲とする ※請負先は請負先の EMS に従う

7. 沿革

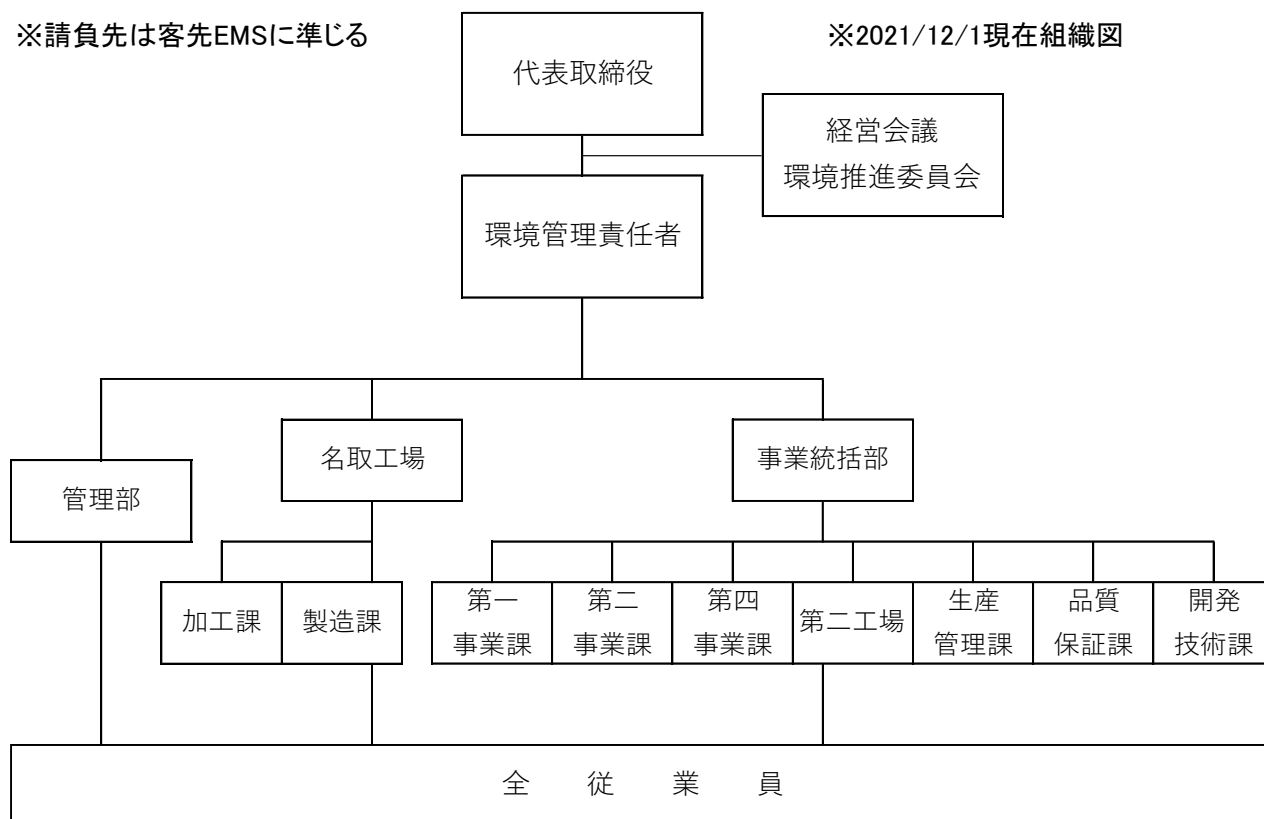
1977. 4 創業
1977. 8 有限会社伸和光機に組織変更
1984. 5 株式会社に組織変更
1984. 11 現在地（花巻市桜町）に移転
1992. 10 資本金 1000 万円に増資
2008. 2 エコアクション 21 の認証取得
2008. 4 本社工場を増築
2018. 7 資本金 3000 万円に増資
2018. 8 ISO9001 認証取得
2018. 12 名取工場（宮城県）開設

実施体制

1. 組織概要

※請負先は客先EMSに準じる

※2021/12/1現在組織図



2. 実施体制

役職	役割と権限
代表取締役	①環境方針の策定 ②経営資源の準備 ③全体の評価と見直し ④環境活動レポートの承認 ⑤環境目標及び環境活動計画の承認 ⑥環境管理責任者の任命 ⑦課題とチャンスの明確化 ⑧実施体制の構築
環境管理責任者 (産廃管理者)	①環境経営システムの構築、実施、管理 ②環境活動レポートの作成 ③環境活動実績の確認、評価 ④その他 EA21 推進に関する業務 ⑤代表者への実績報告 ⑥教育訓練の計画、実施
経営会議 (環境推進委員会)	①環境目標及び環境活動計画の結果確認 ②EA21 に関する審議、その他関連事項への対応協議
各部署長	①EA21 環境活動計画に基づく取組の実施奨励 ②取組内容のチェック、是正指摘事項の改善 ③従業員に対する教育訓練の実施
従業員	①環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚し、能力向上に努める。 ②決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

環境目標

2021年度は、全社認証範囲として初年度でした。

全社に目標を設定致しました。(売上高原単位にて)(単位：%万円)

全社			20年実績	2021年	2022年	2023年	2024年
CO ₂ 排出量	電	力 kwh	4.1897	4.0218	3.9816	3.9418	3.9024
	灯	油 L	0.0921	0.0952	0.0943	0.0933	0.0924
	軽	油 L	0.0810	0.0797	0.0789	0.0781	0.0774
	ガソリン	L	0.0590	0.0505	0.0500	0.0495	0.0490
	ガス(プロパン)	m ³	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002
水資源(上水)			m ³	0.0093	0.0090	0.0089	0.0088

本社			20年実績	2021年	2022年	2023年	2024年
CO ₂ 排出量	電	力 kwh	3.0946	3.0800	3.0492	3.0187	2.9885
	灯	油 L	0.0101	0.0090	0.0089	0.0088	0.0087
	軽	油 L	0.0940	0.0900	0.0891	0.0882	0.0873
	ガソリン	L	0.0352	0.0330	0.0327	0.0323	0.0320
	ガス(プロパン)	m ³	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001
水資源(上水)			m ³	0.0091	0.0087	0.0086	0.0085

第二工場			20年実績	2021年	2022年	2023年	2024年
CO ₂ 排出量	電	力 kwh	11.2754	11.1000	10.9890	10.8791	10.7703
	灯	油 L	2.5447	2.0000	1.9800	1.9602	1.9406
	軽	油 L	0.1681	0.1650	0.1634	0.1617	0.1601
	ガソリン	L					
	ガス(プロパン)	m ³	0.0019	0.0020	0.0020	0.0020	0.0019
水資源(上水)			m ³	0.0305	0.0280	0.0277	0.0274

名取工場			20年実績	2021年	2022年	2023年	2024年
CO ₂ 排出量	電	力 kwh	17.9624	17.6000	17.4240	17.2498	17.0773
	灯	油 L					
	軽	油 L					
	ガソリン	L	0.4144	0.4000	0.3960	0.3920	0.3881
	ガス(プロパン)	m ³					
水資源(上水)			m ³	0.0126	0.0124	0.0123	0.0122

全体		実績2020年	目標2021年	目標2022年	目標2023年	目標2024年
客先クレーム件数	件	32	15	10	5	5
一般廃棄物	kg	0.0338	0.0330	0.0327	0.0323	0.0320
産廃排出量	kg	0.0501	0.0500	0.0495	0.0490	0.0485
リサイクル(再資源化)	kg	0.0817	0.0817	0.0809	0.0801	0.0793
社会貢献	件	3	3	3	3	3
化学物質	kg	PRTR法該当化学物質については、使用量が全て10kg未満である事から、購入量のみ管理				

環境活動計画

環境目標達成に向け、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水資源使用量を削減し、経営者を始めとし全社一丸となつて、省エネや廃棄物の削減、リサイクル等に取り組んでおります。

【本社工場】

株式会社 伸和光機 EA-21 環境経営計画										
期間		2021年8月～2022年7月		評価期間①		2021年8月～2021年10月				
場所		本社工場		評価期間②		2021年11月～2022年1月				
				評価期間③		2022年2月～2022年4月				
				評価期間④		2022年5月～2022年7月				
項目	内容			頻度	担当	①	②	③	④	
マネジメント	全事業所への環境経営システムの浸透			—	環境管理 責任者	△	○	○	△	
	経営会議時、環境目標活動の達成状況の報告			3か月に1度		○	○	○	○	
CO2 排出量 削減	電力	節電シール掲示、朝礼による意識向上		随時	職場担当者	○	○	○	○	
		消灯徹底(使用設備電源の消灯確認)		休憩、終業時		○	○	○	○	
		離席時のPCモニターOFF、未使用時パソコン電源OFF徹底		随時	使用者 購入者	△	△	△	△	
		エネルギー効率の良いOA機器選定利用				△	△	△	△	
		室内温度管理徹底(夏期26度・冬期22度)		夏期(6月～9月)	管理課	△	△	△	○	
				冬期(11月～4月)		△	×	×	△	
	空調室外機の屋根を設置し、燃焼効率の向上を図る		随時	環境管理 責任者	△	△	△	△		
	電力モニター使用による使用量の把握とデマンド管理		随時		○	○	○	○		
	蛍光灯の間引き、蛍光灯のワット数ダウン		随時	環境管理 責任者	○	○	○	○		
	抜本的な電力使用のコントロール方法検討と実施				×	×	×	×		
灯油	室内温度管理徹底(冬期22度)		冬期(11月～4月)	職場担当者	△	△	△	△		
	ビニールカーテンを活用し、暖房効率を向上させる		随時		○	○	○	○		
車両燃料	エコドライブ・アイドリングストップの励行		随時	使用者	○	○	○	○		
	急発進、急加速、急停止を避け、なるべく一定速度を心掛ける				○	○	○	○		
	不要な荷物を積まない				○	○	○	○		
	最短ルートを検索し走行距離を減らす 走行距離管理				○	○	○	○		
不良率削減	不良品を削減し、生産工程歩留まりの向上に努める			随時	工程管理者	○	○	○	○	
OA紙使用量削減	裏面利用の推奨			随時	使用者	○	○	○	○	
	両面、集約印刷の推奨					○	○	○	○	
	会議資料の削減(プロジェクター活用推進)				職場担当者	○	○	○	○	
	現場管理資料の管理方法見直し(紙管理からデータ管理に変更)					○	○	○	○	
廃棄物削減	ゴミの分別を徹底し、リサイクル化を推進(従業員への周知徹底)			随時	全従業員	○	○	○	○	
	指サック・マスクの使用量削減推進					使用者	○	○	○	○
	通い箱の有効利用				使用者	全従業員	○	○	○	○
	白黒印刷推奨					使用者	○	○	○	○
リサイクル率向上	ゴミの分別を徹底し、リサイクル化を推進(従業員への周知徹底)			随時	全従業員	○	○	○	○	
	包装、梱包材の再利用、通い箱化の推進					資材担当者	○	○	○	○
	段ボール、部品トレイ類は再生原料で処理委託				環境管理 責任者	○	○	○	○	
	金属類、雑線は分別収集し、再生処理委託					○	○	○	○	
雑誌、新聞、紙類は分別収集し、再生処理委託			○	○	○	○				
水資源使用量削減	節水シール掲示、朝礼による意識向上			随時	環境管理 責任者	○	○	○	○	
	漏水確認の徹底					○	○	○	○	
グリーン購入の推進	エコマーク商品を優先的に購入する			随時	購入者	○	○	○	○	
地域貢献活動	地域清掃活動の呼び掛けに積極的に参加する			随時	環境推進委員会	○	○	○	○	
	地域中学生の職場体験を受け入れ、物作りの楽しさを提供する→コロナのためNG			年1回～2回	工程管理者	△	△	△	△	
	障がい者の職場実習体験を受け入れる→コロナのためNG			随時	工程管理者	△	△	△	△	
社会貢献活動	ペットボトルのキャップを回収し、ワクチン購入に役立てる			随時	全従業員	○	○	○	○	
	地元教育機関への寄付(小学校及び中学校)→8月実施済み			今年度のみ	社長	○	△	△	△	
化学薬品使用量把握	化学薬品購入量の把握			1回/月	環境推進 委員会	○	○	○	○	
	有害物質の把握			新規購入時		△	△	△	△	

○:評価できる
△:まずまず評価できる
×:評価できない

改定履歴						承認	作成	
1	制定	2007年6月1日	13	改定	2020年8月1日	17	豊川	菅野
10	改定	2018年8月1日	14	改定	2021年8月1日	18		
11	改定	2019年8月30日	15	改定		19		
12	改定	2020年5月13日	16	改定		20		

【第二工場】

株式会社 伸和光機 EA-21 環境経営計画

期間 2021年8月～2022年7月 評価期間① 2021年8月～2021年10月
 場所 第二工場 評価期間② 2021年11月～2022年1月
 評価期間③ 2022年2月～2022年4月
 評価期間④ 2022年5月～2022年7月

項目	内容	頻度	担当	①	②	③	④	
マネジメント	全事業所への環境経営システムの浸透	—	環境管理責任者	△	○	○	△	
	経営会議時、環境目標活動の達成状況の報告	3か月に1度		○	○	○	○	
CO2 排出量 削減	電力	節電シール掲示、朝礼による意識向上	随時	職場担当者	○	○	○	○
		消灯徹底(使用設備電源の消灯確認)	休憩、終業時		○	○	○	○
		離席時のPCモニターOFF、未使用時パソコン電源OFF徹底	随時	使用者	○	○	○	○
		エネルギー効率の良いOA機器選定利用→本社にて一括管理		購入者	△	△	△	△
		室内温度管理徹底(夏期26度・冬期22度)	夏期(6月～9月) 冬期(11月～4月)	管理課	△	△	△	○
		空調室外機の屋根を設置し、燃焼効率の向上を図る	随時		×	×	×	×
	電力モニター使用による使用量の把握とデマンド管理→モニターなし	随時		△	△	△	△	
	灯油	蛍光管の間引き、蛍光管のワット数ダウン	随時	環境管理責任者	△	△	△	△
		抜本的な電力使用のコントロール方法検討と実施			×	×	×	×
		室内温度管理徹底(冬期22度)	冬期(11月～4月)	職場担当者	△	△	△	△
	車両燃料	ビニールカーテンを活用し、暖房効率を向上させる	随時	職場担当者	×	×	×	×
		エコドライブ・アイドリングストップの励行	随時	使用者	○	○	○	○
急発進、急加速、急停止を避け、なるべく一定速度を心掛ける		○			○	○	○	
不要な荷物を積まない		○			○	○	○	
最短ルートを検索し走行距離を減らす 走行距離管理	○	○			○	○		
不良率削減	不良品を削減し、生産工程歩留まりの向上に努める	随時	工程管理者	○	○	○	○	
OA紙使用量削減	裏面利用の推奨	随時	使用者	○	○	○	○	
	両面、集約印刷の推奨			○	○	○	○	
	会議資料の削減(プロジェクター活用推進)		職場担当者	○	○	○	○	
	現場管理資料の管理方法見直し(紙管理からデータ管理に変更)			○	○	○	○	
廃棄物削減	ゴミの分別を徹底し、リサイクル化を推進(従業員への周知徹底)	随時	全従業員	○	○	○	○	
	指サック・マスクの使用量削減推進		使用者	○	○	○	○	
	通い箱の有効利用		全従業員	○	○	○	○	
	白黒印刷推奨		使用者	○	○	○	○	
リサイクル率向上	ゴミの分別を徹底し、リサイクル化を推進(従業員への周知徹底)	随時	全従業員	○	○	○	○	
	包装、梱包材の再利用、通い箱化の推進		資材担当者	○	○	○	○	
	段ボール、部品トレイ類は再生原料で処理委託		環境管理責任者	○	○	○	○	
	金属類、雑線は分別収集し、再生処理委託			○	○	○	○	
水資源使用量削減	節水シール掲示、朝礼による意識向上	随時	環境管理責任者	○	○	○	○	
	漏水確認の徹底			○	○	○	○	
グリーン購入の推進	エコマーク商品を優先的に購入する	随時	購入者	○	○	○	○	
地域貢献活動	地域清掃活動の呼び掛けに積極的に参加する	随時	環境推進委員会	△	△	△	△	
	地域中学生の職場体験を受け入れ、物作りの楽しさを提供する	年1回～2回	工程管理者	△	△	△	△	
	障がい者の職場実習体験を受け入れる	随時	工程管理者	△	△	△	△	
社会貢献活動	ペットボトルのキャップを回収し、ラタチン購入に役立てる	随時	全従業員	△	△	△	△	
	地元教育機関への寄付(小学校及び中学校)	今年度のみ	社長	△	△	△	△	
化学薬品使用量把握	化学薬品購入量の把握→全て支給	1回/月	環境推進委員会	△	△	△	△	
	有害物質の把握	新規購入時		△	△	△	△	

○:評価できる
 △:まずまず評価できる
 ×:評価できない

改定履歴		承認	作成
1	制定 2021年8月1日	豊川	菅野

【名取工場】

株式会社 伸和光機		EA-21 環境経営計画						
期間	2021年8月～2022年7月	評価期間①	2021年8月～2021年10月					
場所	名取工場	評価期間②	2021年11月～2022年1月					
		評価期間③	2022年2月～2022年4月					
		評価期間④	2022年5月～2022年7月					
項目	内容	頻度	担当	①	②	③	④	
マネジメント	全事業所への環境経営システムの浸透	—	環境管理	△	○	○	△	
	経営会議時、環境目標活動の達成状況の報告	3か月に1度	責任者	○	○	○	○	
CO2 排出量 削減	電力	節電シール掲示、朝礼による意識向上	随時	職場担当者	○	○	○	○
		消灯徹底(使用設備電源の消灯確認)	休憩、終業時		○	○	○	○
		離席時のPCモニターOFF、未使用時パソコン電源OFF徹底	随時	使用者	△	△	△	△
		エネルギー効率の良いOA機器選定利用→本社にて一括管理		購入者	△	△	△	△
		室内温度管理徹底(夏期26度・冬期22度)	夏期(6月～9月) 冬期(11月～4月)	管理課	△	×	×	○
		空調室外機の屋根を設置し、燃焼効率の向上を図る	随時		△	○	○	○
	車両燃料	電力モニター使用による使用量の把握とデマンド管理→モニターなし	随時		△	△	△	△
		蛍光灯の間引き、蛍光灯のワット数ダウン	随時	環境管理 責任者	○	△	△	△
		抜本的な電力使用のコントロール方法検討と実施	随時		×	×	×	×
		室内温度管理徹底(冬期22度)	冬期(11月～4月)	職場担当者	△	△	△	△
		ビニールカーテンを活用し、暖房効率を向上させる	随時	職場担当者	○	○	○	○
		エコドライブ・アイドリングストップの励行	随時	使用者	○	○	○	○
	急発進、急加速、急停止を避け、なるべく一定速度を心掛ける			○	○	○	○	
	不要な荷物を積まない			○	○	○	○	
	最短ルートを検索し走行距離を減らす 走行距離管理			○	○	○	○	
不良率削減	不良品を削減し、生産工程歩留まりの向上に努める	随時	工程管理者	○	○	○	○	
OA紙使用量削減	裏面利用の推奨			○	○	○	○	
	両面、集約印刷の推奨	随時	使用者	○	○	○	○	
	会議資料の削減(プロジェクター活用推進)			○	○	○	○	
廃棄物削減	現場管理資料の管理方法見直し(紙管理からデータ管理に変更)		職場担当者	○	○	○	○	
	ゴミの分別を徹底し、リサイクル化を推進(従業員への周知徹底)	随時	全従業員	○	○	○	○	
	指サック・マスクの使用量削減推進		使用者	○	○	○	○	
	通い箱の有効利用		全従業員	○	○	○	○	
リサイクル率向上	白黒印刷推奨		使用者	○	○	○	○	
	ゴミの分別を徹底し、リサイクル化を推進(従業員への周知徹底)	随時	全従業員	○	○	○	○	
	包装、梱包材の再利用、通い箱化の推進		資材担当者	○	○	○	○	
	段ボール、部品トレイ類は再生原料で処理委託		環境管理 責任者	○	○	○	○	
水資源使用量削減	金属類、雑線は分別収集し、再生処理委託			○	○	○	○	
	雑誌、新聞、紙類は分別収集し、再生処理委託			○	○	○	○	
グリーン購入の推進	節水シール掲示、朝礼による意識向上	随時	環境管理 責任者	○	○	○	○	
	漏水確認の徹底			○	○	○	○	
地域貢献活動	エコマーク商品を優先的に購入する	随時	購入者	○	○	○	○	
社会貢献活動	地域清掃活動の呼び掛けに積極的に参加する	随時	環境推進委員会	△	△	△	△	
	地域中学生の職場体験を受け入れ、物作りの楽しさを提供する	年1回～2回	工程管理者	△	△	△	△	
	障がい者の職場実習体験を受け入れる	随時	工程管理者	△	△	△	△	
化学薬品使用量把握	ペットボトルのキャップを回収し、ラクチン購入に役立てる	随時	全従業員	△	△	△	△	
	地元教育機関への寄付(小学校及び中学校)	今年度のみ	社長	△	△	△	△	
	化学薬品購入量の把握→本社にて管理	1回/月	環境推進 委員会	△	△	△	△	
	有害物質の把握	新規購入時		△	△	△	△	
				○:評価できる △:まずまず評価できる ×:評価できない				
改定履歴				承認	作成			
1	制定	2021年8月1日		豊川	菅野			

環境目標の実績

1. 環境目標項目に対する実績と評価

環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、2021年8月から2022年7月までの実績についての評価結果を報告致します。

達成状況

		※売上単位=万円		※原単位にて		
本社		3ヵ年環境目標項目		目標	結果	達成度
				原単位	原単位	達成率 評価
①	CO ₂ 排出量削減	1. 電力使用量【単位=kwh】	年使用量	0.308	0.198	155.2% ○
②		2. 灯油使用量【単位=l】	年使用量	0.001	0.002	46.8% ×
③		3. ガソリン使用量【単位=l】	年使用量	0.003	0.002	139.3% ○
④		4. 軽油使用量【単位=l】	年使用量	0.009	0.007	138.4% ○
⑤		5. ガス使用量【単位=m ³ 】	年使用量	0.000013	0.000007	175.7% ○
⑥	水資源使用量削減(年間使用量)		【単位=m ³ 】	0.0009	0.0008	113.5% ○

第二		3ヵ年環境目標項目		原単位	原単位	達成度
				原単位	原単位	達成率 評価
①	CO ₂ 排出量削減	1. 電力使用量【単位=kwh】	年使用量	1.109	0.711	156.0% ○
②		2. 灯油使用量【単位=l】	年使用量	0.200	0.118	169.6% ○
③		3. ガソリン使用量【単位=l】	年使用量	0.000	0.000	- -
④		4. 軽油使用量【単位=l】	年使用量	0.017	0.009	175.5% ○
⑤		5. ガス使用量【単位=m ³ 】	年使用量	0.00020	0.00021	93.9% ×
⑥	水資源使用量削減(年間使用量)		【単位=m ³ 】	0.0028	0.0030	93.2% ×

名取		3ヵ年環境目標項目		原単位	原単位	達成度
				原単位	原単位	達成率 評価
①	CO ₂ 排出量削減	1. 電力使用量【単位=kwh】	年使用量	1.760	1.826	96.4% ×
②		2. 灯油使用量【単位=l】	年使用量	0.000	0.000	- -
③		3. ガソリン使用量【単位=l】	年使用量	0.040	0.024	165.9% ○
④		4. 軽油使用量【単位=l】	年使用量	0.000	0.009	0.0% ×
⑤		5. ガス使用量【単位=m ³ 】	年使用量	0.000	0.000	- -
⑥	水資源使用量削減(年間使用量)		【単位=m ³ 】	0.001	0.003	41.6% ×

全体	⑦	客先クレーム件数	【単位=件】	15	22	68.2%	×
	⑧	一般廃棄物	【単位=kg】 年間総廃棄量	0.003	0.004	79.7%	×
	⑨	産廃再資源化量	【単位=kg】 産業廃棄物再資源化量(マニフェスト発行)	0.005	0.010	193.8%	○
	⑩	一般廃棄物リサイクル量	【単位=kg】 一般廃棄物再資源化量	0.008	0.009	112.7%	○
	⑪	社会貢献	【単位=件】 年間回数	3	2	66.7%	×
	⑫	化学物質使用量	【単位=kg】 PRTR法該当物質(購入量にて)	-	-	-	○

※化学物質使用量は年間使用量が10kg未満のため、購入量にて管理

本 社：6項目中5項目（達成率 83.33%）
第二工場：5項目中3項目（達成率 60%）
名取工場：4項目中1項目（達成率 25%）
全 体：6項目中3項目（達成率 50%）

2. 二酸化炭素 CO₂排出量

2021年度						
排出係数	0.424	2.322	2.619	2.489	3	
	電力	ガソリン	軽油	灯油	ガス	合計
本社	83,215	5,444	16,847	4,734	22	110,262
第二工場	15,719		1,285	15,292	33	32,330
名取工場	57,460	4,079	1,731			63,270
合計	156,394	9,523	19,863	20,026	55	205,862
単位	kg-CO ₂ /kwh	kg-CO ₂ /L	kg-CO ₂ /L	kg-CO ₂ /L	kg-CO ₂ /L	

本社工場に関しては、前年比約 20%削減（前年実績 137,901kg-CO₂）となりました。

3. 環境活動の状況

①化学物質の適正使用に対する取り組みについて

使用や保管に注意が必要な溶剤などは、SDS を元に使用するものに応じて必要な環境を整え、購入量を管理する事により、化学物質の定期的な管理、及び適正使用を確認しております。また、有機溶剤が漏洩した際の処理の訓練も実施しております。

②社会貢献活動について

環境方針にある『花巻の自然を守ります』をモットーに、これを実践するため周辺地域のゴミ拾い、清掃を定期的を実施しております。

地域をクリーンに維持する事で、社員一人一人の環境保全の意識も徐々に高まっているものと実感しております。

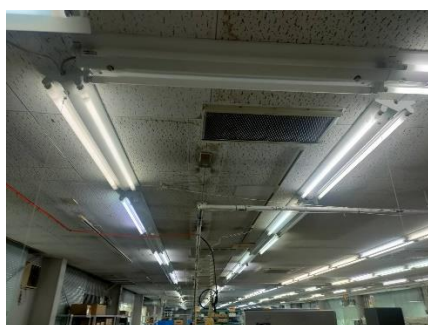
《今期実施項目》

- ・花巻機械金属工業団地内の側溝清掃及び草刈り活動
- ・45周年を記念し、地元の教育機関へ寄付

③本社旧工場のLED化実施

およそ 152 台をLEDに更新致しました。

【更新前】



【更新後】



この更新により、当該箇所の年間の消費電力量がおよそ 75%削減となります。

環境活動計画の取組結果と その評価、次年度以降の取組内容

1. 取組結果の評価

【本社工場】

環境への取組み自己チェック分析評価表							
分類項目	取組み施策	評価点		満点数		取組実施率(%)	
		2020	2021	2020	2021	2020	2021
1. 事業活動のインプットに関する事項	1) 省エネルギー	79	87	128	132	61.72%	65.91%
	2) 省資源	32	32	42	42	76.19%	76.19%
	3) 水の効率的利用及び日常的な節水	7	7	10	10	70.00%	70.00%
	4) 化学物質使用量の抑制及び管理	19	19	32	32	59.38%	59.38%
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目	1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止	10	10	16	16	62.50%	62.50%
	2) 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理	68	69	90	92	75.56%	75.00%
	3) 排水処理	8	8	8	8	100.00%	100.00%
	4) その他生活環境に係る保全の取組	3	3	4	4	75.00%	75.00%
3. 製品及びサービスに関する項目	1) グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入、使用等)	13	13	20	20	65.00%	65.00%
	2) 製品及びサービスにおける環境配慮	52	39	64	46	81.25%	84.78%
4. その他	1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
	2) 環境コミュニケーション及び社会貢献	5	5	22	22	22.73%	22.73%
	3) 施主・事業主における建築物の増改築、解体などにあたっての環境配慮	3	3	8	8	37.50%	37.50%
合計		299	295	444	432	67.34%	68.29%

前年と比較し、+0.95ポイントとなりましたが、全体的に対応しきれていない事が現状です。

【第二工場】

環境への取り組み自己チェック分析評価表							
分類項目	取り組み施策	評価点		満点数		取組実施率(%)	
		2020	2021	2020	2021	2020	2021
1、事業活動のインプットに関する事項	1)省エネルギー		66		120	#DIV/0!	55.00%
	2)省資源		20		32	#DIV/0!	62.50%
	3)水の効率的利用及び日常的な節水		7		10	#DIV/0!	70.00%
	4)化学物質使用量の抑制及び管理		17		32	#DIV/0!	53.13%
2、事業活動からのアウトプットに関する項目	1)温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止		2		4	#DIV/0!	50.00%
	2)廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理		75		90	#DIV/0!	83.33%
	3)排水処理		8		8	#DIV/0!	100.00%
	4)その他生活環境に係る保全の取組		3		4	#DIV/0!	75.00%
3. 製品及びサービスに関する項目	1)グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入、使用等)		13		20	#DIV/0!	65.00%
	2)製品及びサービスにおける環境配慮		37		42	#DIV/0!	88.10%
4. その他	1)生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組		0		0	#DIV/0!	#DIV/0!
	2)環境コミュニケーション及び社会貢献		0		0	#DIV/0!	#DIV/0!
	3)施主・事業主における建築物の増改築、解体などにあたっての環境配慮		3		8	#DIV/0!	37.50%
合計		0	251	0	370	#DIV/0!	67.84%

【名取工場】

環境への取り組み自己チェック分析評価表							
分類項目	取り組み施策	評価点		満点数		取組実施率(%)	
		2020	2021	2020	2021	2020	2021
1、事業活動のインプットに関する事項	1)省エネルギー		61		114	#DIV/0!	53.51%
	2)省資源		26		38	#DIV/0!	68.42%
	3)水の効率的利用及び日常的な節水		7		10	#DIV/0!	70.00%
	4)化学物質使用量の抑制及び管理		16		32	#DIV/0!	50.00%
2、事業活動からのアウトプットに関する項目	1)温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止		2		4	#DIV/0!	50.00%
	2)廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理		66		88	#DIV/0!	75.00%
	3)排水処理		8		8	#DIV/0!	100.00%
	4)その他生活環境に係る保全の取組		3		4	#DIV/0!	75.00%
3. 製品及びサービスに関する項目	1)グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入、使用等)		11		20	#DIV/0!	55.00%
	2)製品及びサービスにおける環境配慮		30		42	#DIV/0!	71.43%
4. その他	1)生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組		0		0	#DIV/0!	#DIV/0!
	2)環境コミュニケーション及び社会貢献		0		0	#DIV/0!	#DIV/0!
	3)施主・事業主における建築物の増改築、解体などにあたっての環境配慮		5		6	#DIV/0!	83.33%
合計		0	235	0	366	#DIV/0!	64.21%

2. 次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出の抑制

本社工場増築予定（引き渡し予定 2022 年 12 月末）に伴い、エリアが広がり、必然的に排出量も増加する事が見込まれるため、不要なエリアの電気オフや消し忘れ防止などを更に徹底する。

(2) 廃棄物の排出削減及び分別の徹底

工程現場の分別は概ね徹底されている。廃棄物処理業者と綿密の相談の上、廃棄物を溜め込まずに、随時処理する。また再利用できるものは極力再利用及び不必要な購入は避ける。

(3) 客先クレームの撲滅

今期は目標値に対し約 1.5 倍の結果となってしまった。営業拡大に伴う新規取引・新規業務の増加による立ち上げ時のミスが多く見られたため、次年度はその教訓を活かし、クレーム発生の抑制に努める。

(4) 節水

引き続き節水に努める。

(5) 地域・社会貢献

コロナウィルス感染症で社会情勢などが一変してしましたが、自社で対応可能な取組は継続して実施する。

(6) 化学薬品の管理

PRTR 法に該当する薬品の購入量の管理、及び SDS を元にした適正管理を行う。また、有機溶剤が漏洩した際の対応訓練も引き続き実施する。

(7) 全社認証範囲に伴う環境経営の定着化

全社認証範囲となって初年度という事もあり、管理体制や管理項目の定着がまだまだ不足していることから、次年度中にその辺りをしっかりと構築する。

環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境基本法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去 3 年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題ありませんでした。

代表者による全体評価と見直しの結果

当期は新たな3ヶ年環境目標を設定した3年目でありました。

新型コロナウイルスに加え、ロシアのウクライナ侵攻など、より一層不確実な時代に突入したと感じる1年でした。また、身近な外部要因として、大手半導体関連企業の進出による地域内の有効求人倍率や工賃の高止まりによる人材確保難や燃料費の高騰、サプライチェーンの回復遅れによる部品調達の遅れなど、様々な要因によってより会社経営が難しさを増しております。

そういった中でも、弊社売り上げは前年比33%増と堅調に推移しており、モノづくりについての国内回帰の動きがある事から、次年度は更なる増収を目指しております。その一環として本社工場の増築を進めており、より一層の安定経営を目指す所存でございます。

また、環境においても世界的に環境に配慮しない企業は選ばれない傾向にある事から、今年全社認証範囲となった事を契機とし、一層の環境に配慮した経営を行ってまいります。

2022年10月25日

株式会社 伸和光機

代表取締役 豊川 正仁